

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別：保育所  
事業所名：辰野町平出保育園

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】内容評価項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。  
「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態  
「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	講評
A	1 保育内容	(1) 保育課程の編成	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。 <input type="checkbox"/> 5 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。	<p>[取り組み状況] 保育課程は、園の理念や方針・独自性を踏まえ、保育目標達成に向けての計画となっており、それを基に各年令別の年間指導計画を作成し、計画に沿った養護、教育を提供している。</p> <p>[検討課題] 保育課程は定期的に評価を行い、保育所の実態を把握した保育の全体的な計画の作成を期待したい。</p>
		(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。 <input checked="" type="checkbox"/> 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 9 内装等には、木材を利用している。 <input type="checkbox"/> 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。	<p>[取り組み状況] 園舎は古いが整理整頓されており、廊下は毎日子どもの床みがきで効果をあげている。 また、園庭も花壇や野菜畑などで整備されている。 今年度、夏より各部屋に冷房が入り、暑さ対策もできている。</p> <p>[検討課題] 子どもたちが自由に遊べ、自由に創作できるコーナーなどを作って、それぞれのくつろげる場所の検討も期待したい。</p>
		② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。 <input checked="" type="checkbox"/> 18 せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。	<p>[取り組み状況] 園児数が少ない事もあるが、子どもの発達差・家庭環境等を全職員が共有している。子どもの状態を把握しながらその気持ちを受けとめ、適切な保育となる様に努めている。 また、各クラス日誌でも、子どもの気持ちや欲求に対しての配慮の記録もみられる。</p> <p>[検討課題] 子ども達を肯定的にとらえるにはどんな言葉がけが望ましいのか、職員同志が共通の理解を更に深めることも必要であろう。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。</li> <li>■ 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。</li> <li>■ 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。</li> <li>■ 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。</li> <li>■ 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況]</p> <p>指導計画の中で基本的な生活習慣の概ねの計画を立てながら、子ども一人ひとりの発達状況に合わせて身に付くようにしている。特に1才児は個別指導計画を作成し、本人に合わせた支援を行っている。自分で出来る事、少し手伝えれば出来る事を見極め、支援が先回りしないように心掛けている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>どの子どもにおいても常に保護者との情報交換を密とし、家庭での生活状況、生活リズムと合わせながら支援する事を期待したい。</p>
		④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。</li> <li>■ 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。</li> <li>■ 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。</li> <li>■ 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。</li> <li>■ 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。</li> <li>■ 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。</li> <li>■ 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。</li> <li>■ 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。</li> <li>■ 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。</li> <li>■ 33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。</li> </ul>	<p>[取り組み状況]</p> <p>廃材を使つての個別の作品作りや、ホールの壁画を季節ごとに全員の参加協力で創作しており、自分達で作った作品を毎日見られる楽しみと満足感を共有している。</p> <p>今年の夏まつりは近くのお寺のお花まつりでの閻魔大王との出会いからの作品作りと、自分達で作った野菜を使つての調理をしている。</p> <p>また、未満児を含めての4つの縦割りグループでの活動では、園児数も少ないので年齢に関係なく遊びや行動を共にしている。</p> <p>地域がら三世代同居も多く、祖父母の送迎で子ども達が大人ともふれ合う機会が多く、相手にしてもらい喜ぶ姿で、地域との関わりや地域の中で育てられている感がする。</p> <p>[検討課題]</p> <p>園前の交通量や道路環境により、気軽に散歩へ出かけることが出来ない状況もあり、園内の環境を更に整備しつつ、子どもの多様性を尊重した、遊びや生活などの発展の工夫を更に期待したい。</p>
		⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。</li> <li>□ 35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。</li> <li>□ 36 子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。</li> <li>□ 37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。</li> <li>□ 38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。</li> <li>□ 39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況]</p> <p>0歳児の受け入れを行っていないため、非該当とする。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 44 保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>1歳児、2歳児は同じ保育室で生活を共にして、上の子は下の子を気遣いながら、下の子は上の子の真似をしながら生活習慣を身に付ける等、良い関係がつけられている。特に数々の手作り玩具が用意され、指先の機能を促したり、集中力、達成感を味わいながら飽きることなく遊ぶ姿がある。また、トマト・小カボチャなどの本物の野菜で感触を確かめながらのごっこ遊びなど、職員の工夫が視られる。</p> <p>[検討課題]</p> <p>未満児の場合は時に一人になれる空間や、リラックスできる場の提供で、心や気持ちを休めながら、また、集団に戻れる、そんな環境作りも必要と思われる。</p>
		⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>各以上児の指導計画は生活習慣の確立、社会生活のルール、幼児期の終わりまでに育ってほしい10項目を踏まえて計画され、それに基づいて実施している。</p> <p>3、4歳児の混合保育では、体操、運動、歌なども一緒に行い、また、地域の方との繋がりや四季折々の野菜作り等を通して楽しさや面白さを提供し、養護、教育の一体的な展開に努めている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>年長児には就学を見通しての生活のリズム、午睡のない生活などの配慮、保護者へは送迎時や連絡帳を更に有効に活用し、保護者の目指す子どもの姿などを話し合い保育に生かし、共に成長を喜び合える関係としたい。</p>
		⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input type="checkbox"/> 51 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 52 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 <input type="checkbox"/> 58 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>クラスの指導計画をもとに本人の個別指導計画を作成し、本人の発達状況や課題を踏まえながら、クラスの子ども達と共に楽しみ成長できるように、本人の得意分野を伸ばしながら、必要に応じて十分援助することを心掛けている。</p> <p>保護者とは情報を共有しながら、また、年4回の療育相談で配慮が必要な子どもだけでなく、不安や子育ての悩みを持つ保護者と専門家が話し合える機会を提供している。</p> <p>[検討課題]</p> <p>配慮を必要とする子どもがクールダウンできる場所の確保や、保護者全体に対しても正しい知識や理解の浸透で疎外感がなく溶け込める環境づくり、育てにくさを感じている保護者の気持ちを共感し、援助する取り組みなど、更に期待したいところである。</p>



評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input type="checkbox"/> 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 63 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input type="checkbox"/> 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	<p>[取り組み状況]</p> <p>1つの保育室で全員が過ごし、異年齢児との関係が深まる利点と長時間利用の中でリラックスして過ごせる時間の確保の難しさがみられる。          なお、長時間保育日誌には保育の内容や子どもの様子が記録されている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>延長保育日誌の記載内容を更に充実させ、長時間保育での日中保育とのバランスや保育内容等に合わせた計画的な活動を期待したい。          また、日中の情報や長時間保育の情報を共有するなどして、子どもの一日の全体像が把握できる体制も期待したい。</p>
					⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b)
	(3) 健康管理	① 子どもの健康管理を適切に行っている。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 73 子どもの保健に関する計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 77 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 81 家庭での生活に生かされ保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	<p>[取り組み状況] 健康診断・歯科検診の結果を家庭に知らせ、必要な家庭には受診を勧めている。歯科に関しては治療証明の提出をお願いし、親子歯みがき教室、フッ化物塗布教室を開催したりして、園児が歯や身体について関心を持てる取り組みをしている。歯磨きは食べた後磨くとの方針で、昼食・おやつ後も行い、年少・年中児は保育士が仕上げ磨きを行っている。</p> <p>[検討課題] 指導計画に健康に関する内容をとり入れ実践しており、診断や健診の結果を踏まえた必要に応じた継続的な取り組みを更に期待したい。なお、歯磨きは座ってきちんと磨く時間の確保は必要と感じる。</p>
		③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。 <input type="checkbox"/> 87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。	<p>[取り組み状況] 食物アレルギー児童対応マニュアルをもとに手順に沿った対応をしている。前月末に保護者からメニューの除去食品について印を入れてもらう等の連携に努め、当日はフローチャート通り、数段階での確認で安全には気を配るなど、アレルギー児童が多いため細心の注意を払っている。子ども達にはアレルギーについて話をして注意をお願いしている。また、職員は研修で理解・知識を深めるとともに、エピペンの使用練習も定期的実施している。</p> <p>[検討課題] マニュアルにある周囲の児童への指導を基にした取り組みや、保護者全体への理解の推進などを進め、正しい理解で、他の子ども達や保護者に対しても偏見等へつながらないようにする取り組みは期待したい。</p>
	(4) 食事	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 91 食器の材質や形などに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	<p>[取り組み状況] 食育年間計画の下に各クラスの指導計画を作成し、食に関する取り組みを実施している。そして、この園ならではの野菜作りを計画に入れ、数々の野菜を育てながら成長と収穫、食べる喜びを共有している。また給食当番や後片付けなどの体験を通して関心がもてるようにも取り組んでいる。保育士は一人ひとりの好き嫌い食品や食べられる量を把握し、食べられた時は褒め、達成感となるようにしている。</p> <p>[検討課題] 給食のサンプルケースはないが本日の献立を掲示し、子どもたちに給食が楽しみとなるようにしているので、掲示に当たっては写真や絵などの視覚で分かる様にする、どの子どもにも更に分かりやすいと思われる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。</li> <li>■ 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。</li> <li>■ 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものである。</li> <li>■ 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。</li> <li>■ 100 季節感のある献立となるよう配慮している。</li> <li>■ 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。</li> <li>■ 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。</li> <li>■ 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況]</p> <p>栄養士の「本日の給食のひとこと」を参考に、保育士がメニューの内容を紹介し、子どもが関心を持ちながら食すようにしている。</p> <p>調理員は未満児の食事風景を見たり、保育士の声で給食日誌を記録し、全園給食会で話し合いがもたれている。毎月の食育の日には、その月の旬の食材や郷土食、伝統食を提供し、食への関心も高めている。</p> <p>また、献立表や給食便りを保護者に配布している。</p> <p>[検討課題]</p> <p>園での食育に関する方針・取り組みについての情報や、子ども達に特に好評だったメニュー・レシピを配布するなど、保育園と家庭との食育についての繋がりも期待したい。</p>
	2 子育て支援	(1) 家庭との緊密な連携	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。</li> <li>■ 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。</li> <li>■ 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。</li> <li>□ 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 保育士体験ができるクラスへの保育参加の取り組みをして、集団の中での子どもの姿や友達との様子、また、保育士が子どもへの関わり方や声かけを見せて家庭での保育の支援としている。連絡帳を通しての情報交換や必要に応じてホワイトボードでその日の様子や連絡事項を記載しているものの、連携には不足を感じる。</p> <p>[検討課題] 連絡帳の記録内容について話し合い、バラつきのない内容とし、一日の様子で成長の喜びを保護者に的確な記述で伝えられる専門性等、記録を通して両者が成長できる取り組みが必要と思われる。</p>
		(2) 保護者等の支援	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。</li> <li>■ 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。</li> <li>■ 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。</li> <li>□ 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。</li> <li>□ 112 相談内容を適切に記録している。</li> <li>■ 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況]</p> <p>お便りに「心配事、分からない事など気軽に相談して下さい」、また、療育相談で子育ての悩みについて専門家と話し合いができる旨を記載して、前向きに取り組んでいる。そして、希望による面談や送迎時にいつでも相談やアドバイスが出来るよう心掛け、子育てにおいて有効な情報や催しについても保護者へ知らせている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>担当保育士の関わりだけでなく、必要に応じて園全体で考えたり、時には専門機関へ繋げるなど、安心して子育てができる環境の整備を進めることで、課題を持つ子どもへの提供する保育の質も更に向上すると思われる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。</li> <li>■ 115 虐待等権利侵害の可能性があると感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。</li> <li>■ 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。</li> <li>■ 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。</li> <li>■ 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。</li> <li>■ 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。</li> <li>□ 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。</li> </ul>	<p>[取り組み状況]</p> <p>町の要保護児童対策地域協議会でのマニュアルは整備され、体制は整っている。</p> <p>子どもの心身の状態、家庭の養育状況などを把握し、早期発見となるよう努めており、親の機能が十分でないと思われる時は声かけを多くし、精神面で支えながら全員で注意を払っている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>虐待マニュアルの「虐待を疑わせる具体的状況」について具体的に学習し、単に傷があるかの判断でなく、ネグレクト・親の機能不全など、早期の発見ができる専門性が必要と思われる。</p> <p>なお、子どもの権利についての深い学習の機会が必要と思われる。</p>
	3 保育の質の向上	(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。</li> <li>■ 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。</li> <li>■ 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。</li> <li>□ 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。</li> <li>■ 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。</li> <li>□ 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況]</p> <p>毎日の保育実施の中で、日誌に記録することで保育の振り返りを行っている。そして、学期ごとに全職員が保育の反省をして意見の交換をしている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>なぜ、保育の反省、振り返りを重ねることが必要なのか、また、良い保育につながるのかの視点を持った自己評価へと進め、個々の自己評価を基にした園全体の評価へと繋げることで、計画性を持った質の向上への新たな取り組みも容易に見えてくると思われる。</p>